

7月8日に市民ワークショップの「報告会」を開催しました



■ステップ1～「あいさつ」

会の冒頭で柏市 鬼沢徹雄副市長が挨拶。一般、施設利用団体、ワークショップ参加者ほか60名近い皆様を前に、市民参加のワークショップは市にとって非常に意義深いことだと話されました。また、市担当者から改めて当リノベーション事業と市民ワークショップの趣旨説明があり、リノベーション工事期間中の業務移転先などもお知らせしました。



■ステップ2～「WSの振り返り」

ファシリテーターを務めた平山教授が、全6回のワークショップをデータから振り返りました。WSの進捗と共に、参加者が関心を持つ部屋や機能への意見が変化する様や、寄せられた意見とその意見の採否との関係など、学術的な側面から説明がありました。



■ステップ3～「基本計画の報告」

12名のワークショップ参加者から、新しく出来た平面図の説明がありました。新たな近隣センターのコンセプト、敷地利用と配置、公園との一体化、多世代交流の場、ワンストップサービス、今後の使い方など、ワークショップの中で盛んに議論され深められて平面図に取りまとめられた経緯と内容が良く分かる報告になりました。



■ステップ4・5～「WS参加者の皆さんから一言」「質疑応答」

会場のワークショップ参加者からも感想や意見を頂きました。また、一般参加の皆様を含めて、特にセンター利用団体の方々から質問や期待の言葉を頂きました。最後に、今回のワークショップは終了しましたが、今後は新たな近隣センターの運用についてのミニワークショップを検討中なので、引き続きご支援頂きたい、と事務局からお知らせとお願いがあり会を終了しました。



南部近隣センターリノベーション事業（紹介ビデオ・YouTube）



ワークショップへのご協力ありがとうございました！
今後もリノベ事業(改修事業)の報告をしてまいります

リノベニュース

をご愛読下さい。



お知らせします！

今後もワークショップ後の施設改修の進捗状況をいち早くお知らせします。引き続きご愛読ください。



お寄せください！

是非地域のみなさまのご意見をお寄せください。ご意見等は随時ご意見箱（近隣センター内に設置）やメール（タイトル下を参照）でも受け付け、今後の改修工事の参考にさせていただきます。

南部近隣センター
リノベーション事業
特設サイト 開設！



<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p043375.html>

住民と行政が共に考えるリノベーション・ワークショップ

2018年8月9日 第7号

南部近隣センター リノベニュース

発行：柏市役所地域支援課 問合せ：04-7167-1126 Fax 04-7167-8103 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp



ワークショップ終了！ 平面図が決まりました

第6回ワークショップを経て、やっとゾーニング図が確定しました。白熱した第6回ワークショップの報告は2～3面、最終ゾーニング図を4～7面に掲載しています。



事業のスケジュール

ワークショップは全6回。アイデア出しから始めて、必要な機能を考え、ゾーニング（レイアウト）、平面図まで、皆さんと決めてきました。

今ココ！
ワークショップ
終了



リニューアル
オープン



'17/8月～9月
アンケート
(終了しました)

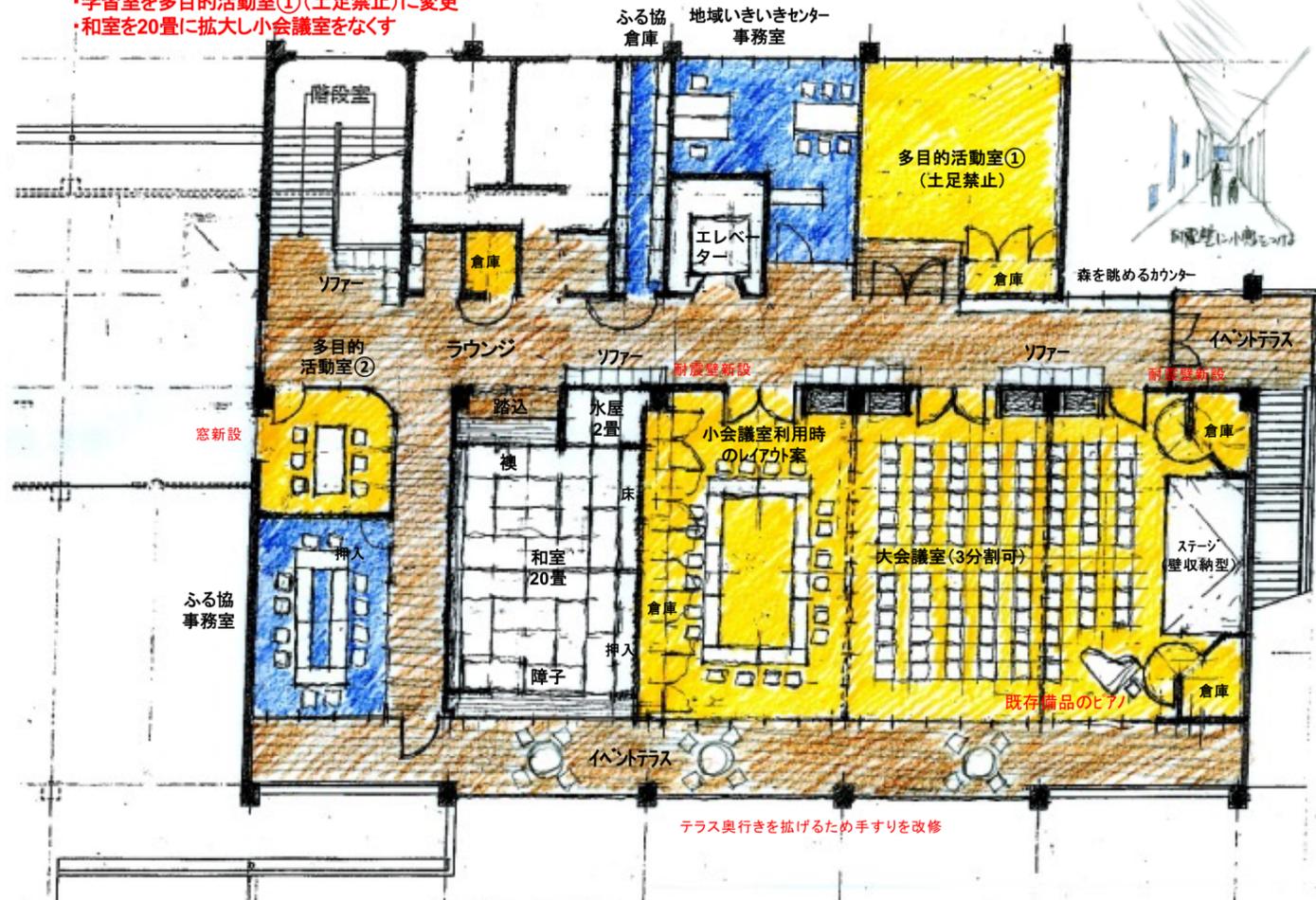
'17/10月～'18/7月
市民ワークショップ
(全6回)・設計

改修工事

確定した平面図 (2階)

世代交流の場/ワンストップサービス 2階ゾーニング図

- 主な修正点
- ・大会議室を3分割とし大～中～小会議室利用が可能
 - ・学習室を多目的活動室①(土足禁止)に変更
 - ・和室を20畳に拡大し小会議室をなくす



2階には、大会議室（3部屋に間仕切り可能）、和室20畳、土足禁止の多目的活動室、南部地域ふるさと協議会の事務所があります。

また、「地域いきいきセンター（福祉関係の相談窓口）」を新設します。



2018/7/9

全体での意見交換②「みんなの広場をシニアが使うことはできないか？」

Gさん「みんなの広場は、お母さんたちの意見を踏まえて子供に限った利用になっているが、小中高生が使う時間帯は放課後なので午前中は空く。和室1で行われている活動を新しいゾーニングの中で確保すると、午前中をシニアに貸すなど、しなやかに使えないか」
 Hさん「和室の利用状況を調べてくれてありがたい。色々な意見が出ているが、床にマットを敷く労力もあるし、シニアの活動場所をなくさないでほしい」
 Iさん「子供の時間に制限があると利用は減ってしまうし、午前等は乳幼児で全面使うことを考えている。午前中なら空いているという考えは違う」
 事務局「市の事情をお伝えさせていただくと、みんなの広場には国の補助金が入っており、サークルに貸出しする時間帯があると、市としては少しやりにくい」
 ファシリテーター「論点が見えてきたので議論してほしい」

全体での意見交換③「北側の桜の木は切るべきか？」

Jさん「北側に駐車場を新設した際、車の運行の安全が確保されるのなら桜の木を残してもいいが、無理ではないか」
 Kさん「自然との調和という基本的な概念もある。6本全部切らないと安全性は担保できないのか」
 ファシリテーター「車路幅は相互通行だと5.5m必要で、6本すべて切らないと担保できない。残念だが、駐車効率との兼ね合いで言えば、切る必要がある」
 Lさん「桜はすぐ大きくなるので、また植えればいい」
 Hさん「桜の老木は枯れ枝が落ちて、車に傷がつくことがあり得る。傷がついても構わない、というならいいが、それは絶対ない」
 ファシリテーター「苦渋の選択ではあるが、しっかりご議論いただきたい」

各班で3つのテーマを議論しました

	①大きな会議室	② みんなの広場と軽運動できる場所	③北側の桜の木
1班	中会議室と大会議室を一体にして大きくしたい	小会議室をなくして和室を広げ、軽運動できるようにしては？	涙を飲んで切ることにするが、公園に桜を植えてほしい
2班	中会議室を大会議室と一体にして大きくしたい	学習室を土足禁止の会議室にしたら、うまくはまるだろう	公園にまだあるので、桜の木は切ってもいい
3班	大会議室と中会議室の壁を可動式にして大きくしたい	学習室は「実際に使用するだろうか」という声があり、土足禁止の会議室にする。みんなの広場は子どものための部屋にする	駐車台数の確保を第一に考えて、桜の木を切る
4班	大会議室と中会議室の間の壁は可動式にすべき	会議室はすべて土足禁止にする。みんなの広場はそのまま。	桜の木は切った方がいい

意見が一致

さらに議論を重ねました

意見が一致

「学習室をなくして土足禁止の会議室にするべきか？」

「小会議室をなくして和室を広くするべきか？」

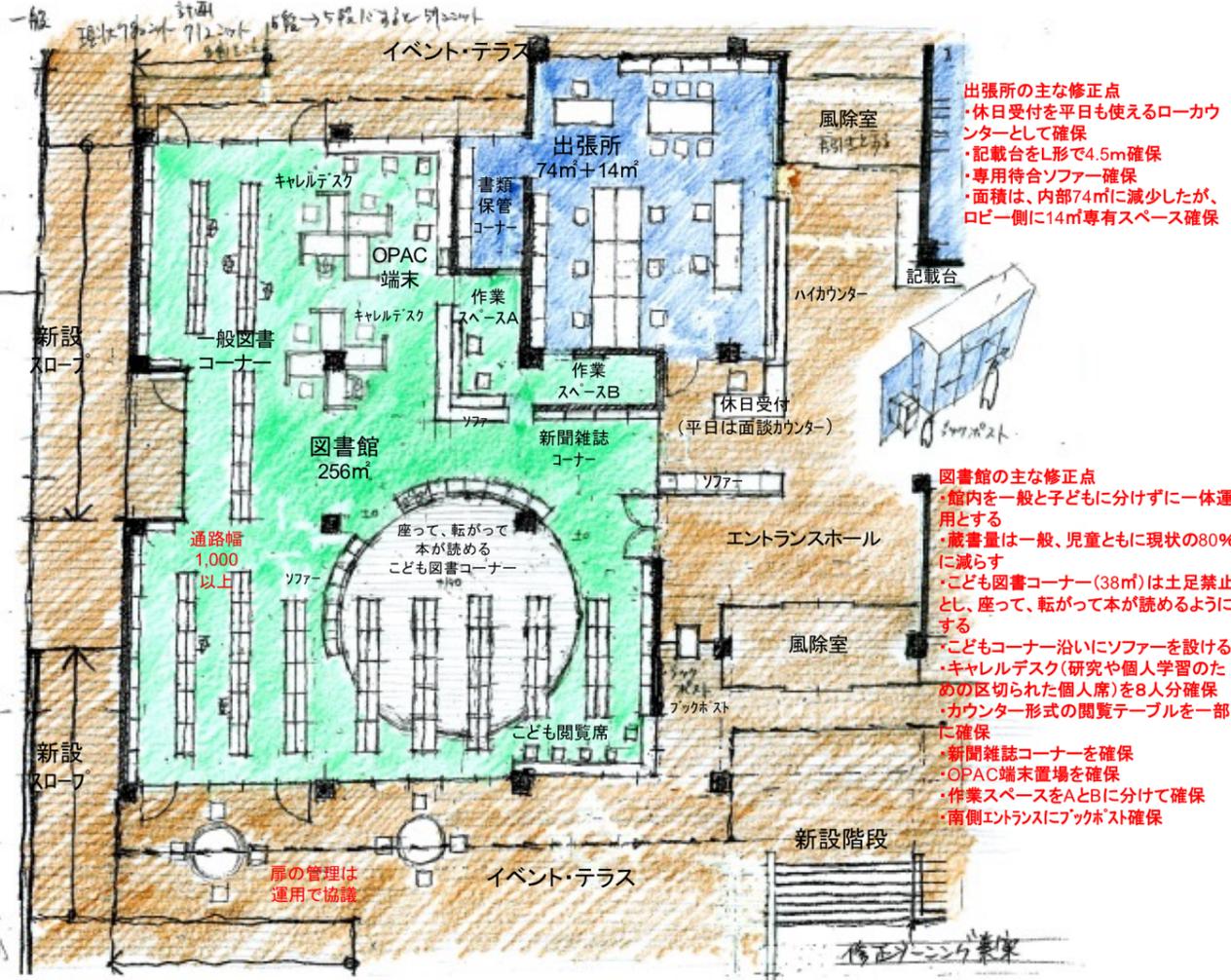
ワークショップの結論

大会議室と中会議室は一体化して、可動式の壁で仕切ります
 北側の桜の木は切ることにします
 学習室を土足禁止の軽運動室に変更します（自習はラウンジ等が使える）
 和室を広げるかどうかは、利用実績を調べて、事務局で判断します

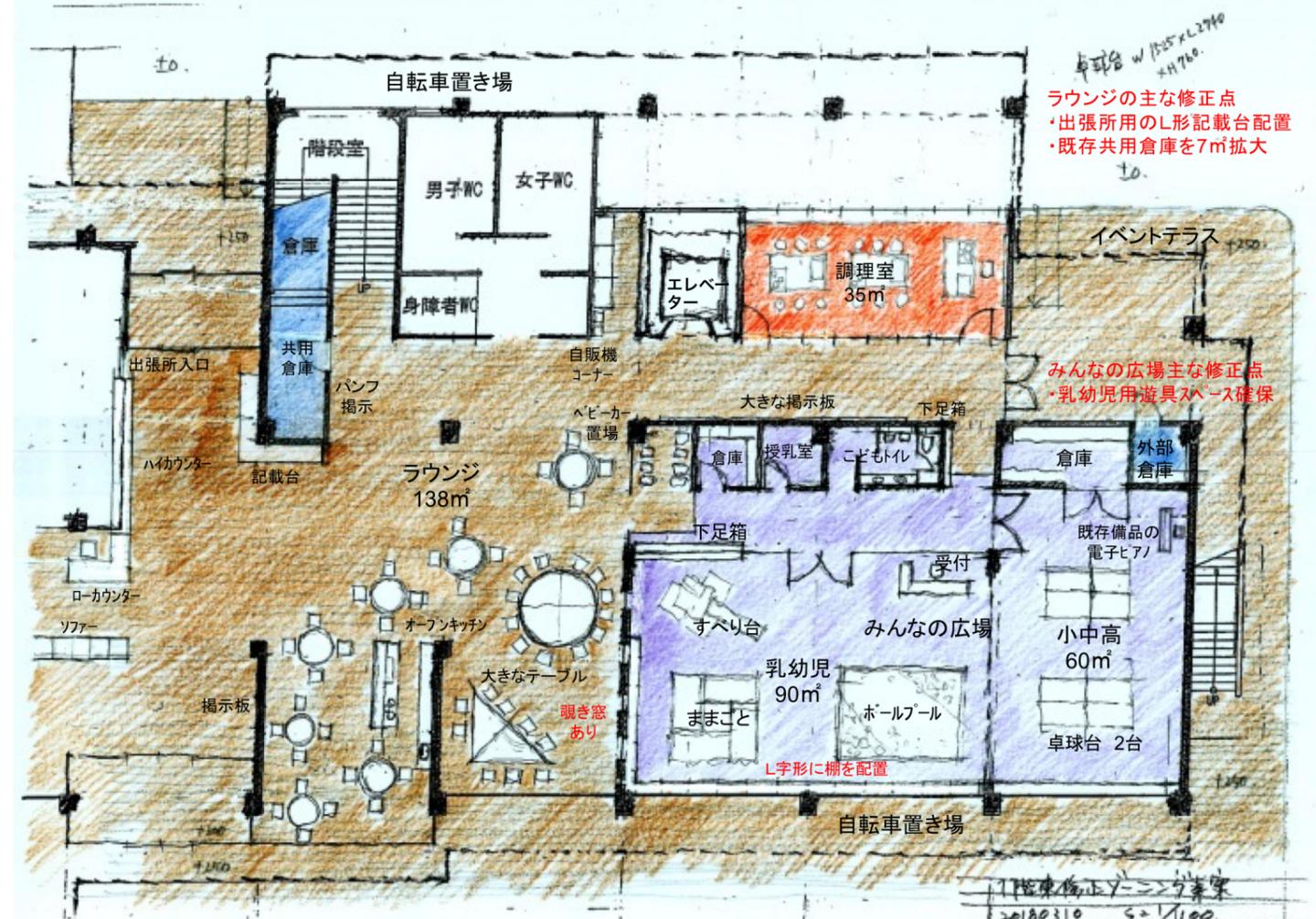
結論は6面にゾーニング図を掲載

確定した平面図 (1階)

世代交流の場/ワンストップサービス 1階西ゾーニング図



世代交流の場/ワンストップサービス 1階東ゾーニング図



1階西側(入口から入って左側)に図書館分館があります。面積を広くし、閲覧席を設けました。また、子どもや親子が靴を脱いでゆっくり座って読める子ども閲覧エリアも作りました。

建物の外周にウッドデッキ状のテラスがあり、借りた本を読むことができます。

入って正面奥には南部出張所があります。



ラウンジからエントランスホール、図書館を眺める



入口から入ってすぐにラウンジ(オープンスペース)を設けました。ゆっくりお茶やおしゃべり、読書などを楽しむことができます。

入って右側には「みんなの広場」があります。ラウンジとの仕切り壁には小窓があり、ラウンジから子どもを見守ることができます。

調理室(料理実習室)は1階に設けました。また、トイレと調理室の間に、新しくエレベーターを設置しました。